

2022年12月 現在

FUJITSU Software

YPS WorkBench V5.1a L11

本商品は、YPSによるプログラム開発に必要なツールの統合化をWindows上で実現した統合開発環境です。
YPS仕様書の編集からコンパイル、リンク、デバッグおよび保守まで、すべての処理をWindows上で行うことができます。

- ・ スタンドアロン

PRIMERGY / FMV / FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-0 IaaS / FUJITSU Cloud Service S5

・ スタンドアロン

Windows Server 2022(64-bit) / Windows Server 2019(64-bit) / Windows Server 2016(64-bit) /
Windows Server 2012 R2(64-bit) / Windows Server 2012(64-bit) / Windows Server 2008 R2(64-bit) /
Windows Server 2008(64-bit) / Windows Server 2008 / Windows 10(64-bit) / Windows 10 / Windows
8.1(64-bit) / Windows 8.1 / Windows 8(64-bit) / Windows 8 / Windows 7(64-bit) / Windows 7 /
Windows Vista

1. YPSの特長

- (1) YACII表記法をベースとしたプログラミングシステムです。
- (2) YACII表記法を元にしたYPS言語でプログラムを記述します。
- (3) YPS仕様書から目的言語のプログラムが自動生成され、YPS仕様書のままデバッグすることができます。

2. YPS導入の効果

- (1) 構造化プログラミングの考え方に基いた図記号表現によって、プログラムの構造が視覚的に把握できます。
- (2) 日本語で記述できるため、プログラムの可読性が向上します。
- (3) 仕様書とプログラムが一体化するため、従来の言語による開発方法に比べてプログラムの品質や保守性が向上します。

3. YPS WorkBenchの特長

(1) YPS表記編集機能

論理構造を意識したYPS仕様書の編集が可能です。

また、テキストファイルの編集を行うこともできます。

(2) セクション構造図編集機能

抽象度の高いセクション構造図のビューでYPS仕様書の編集が可能です。

YPS仕様書を解析して構造図を表示したり、構造図を作成してYPS仕様書のスケルトンを生成することができます。

(3) 標準構文ファイル変換機能

YPS表記編集で使用する標準構文を切り替えるユーティリティです。

また、利用者独自の標準構文定義ファイルを作成し、標準構文で使用することができます。

(4) 仕様書関連機能

・仕様書印刷機能により、YPS仕様書を印刷したり、モジュール構成図等のドキュメントを自動生成して印刷します。

・ステップカウント機能によりYPS仕様書の実行ステップ数、コメント、図記号の数などをカウントします。

・YPS仕様書比較機能により、YPS仕様書の世代間の違いを色付けしてわかりやすく表示することができます。

(5) セットアップ機能

YPS WorkBenchの環境をカスタマイズすることができます。

(6) ホスト連携機能

簡単な操作でホストとの連携を行うことができます。

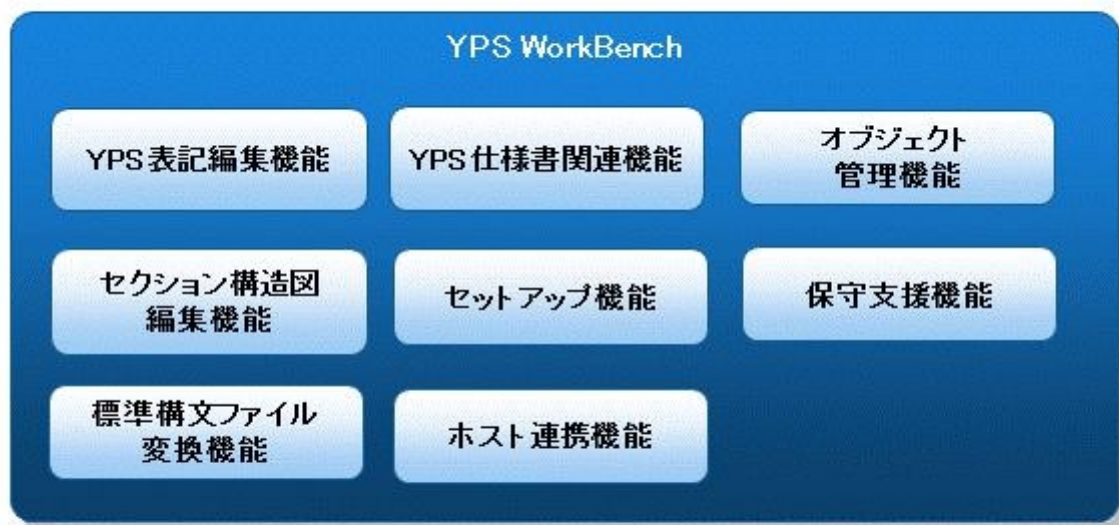
ホストのPS/POやGEMとの転送、変更箇所のみを送信によるGEMへの修正反映が可能です。

(7) オブジェクト管理機能

プロジェクト単位でソースプログラムの構成を管理できるため、アプリケーションを自動的に構築するMAKE機能やプロジェクトのドキュメント印刷などが簡単に行えます。

(8) 保守支援機能

YPS仕様書などの資産から保守資料を出力したり、抽象化構文の修正による影響範囲の検索や一括修正などを行うことができます。



新規機能

V5.1 L11からV5.1a L11の機能強化項目は、以下のとおりです。
内部コンポーネントを入れ替えました。

- ・ **オンラインマニュアル**

- ・ YPS WorkBench V5.1 使用手引書(PDFファイル)
- ・ YPS V5.1 リリース情報(PDFファイル)

商品体系

- YPS WorkBench メディアパック V5.1a L11
- YPS WorkBench 1ライセンス (1年間24時間サポート付) V5.1a (*)
- YPS WorkBench 1ライセンス バージョンアップキット V5.1a

*: 本商品のライセンス製品には、初年度の「SupportDesk Standard」がバンドルされています。

1. メディアパックについて

メディアパックは、媒体(CD-ROM等)のみの提供です。使用権は許諾されておりませんので、別途、ライセンスを購入する必要があります。また、商品の導入にあたり、最低1本のメディアパックが必要です。バージョンアップ/レベルアップを目的に本メディアパックのみを手配することはできません。

2. ライセンスについて

本商品は、コンピュータ1台毎に1ライセンスを購入してください。

複数台のコンピュータに適用する場合は、その台数に応じたライセンス数の購入が必要です。

3. V5.0以前からのバージョンアップについて

(1) 下表に示す商品を購入することで、V5.0以前のバージョンからのバージョンアップが可能です。

(2) バージョンアップを行うにあたり、YPS WorkBench メディアパック V5.1a L11 をライセンスの購入に合わせ、最低一本は購入してください。

本商品へのバージョンアップ方法

バージョンアップ対象商品	バージョンアップ時に購入する商品	購入可能数
YPS WorkBench for Windows V2.1/V2.2	YPS WorkBench 1ライセンス バージョンアップキット V5.1a	対象商品保有ライセンス数分、購入が可能です。
YPS WorkBench for Windows V4.1		
YPS WorkBench for Windows LANPACK5 V2.1/V2.2		
YPS WorkBench for Windows ライセンスパック V2.2		
YPS WorkBench for Windows ライセンスパック V4.1		
YPS WorkBench V5.0		
YPS WorkBench バージョンアップキット V5.0		
YPS WorkBench ライセンスパック V5.0		
YPS WorkBench ライセンスパック バージョンアップキット V5.0		

1. JEF拡張漢字を使用する場合

JEF拡張漢字を使用する場合は、以下の商品が必要です。

- ・ JEF拡張漢字サポート V7.2 L10以降

2. ホスト連携機能を使用する場合

ホスト連携機能を使用する場合は、以下の商品が必要です。

- ・ 通信制御サービス V7.1 L25以降
- ・ WSMGR V7.1 L30以降
- ・ WSMGR APIオプション V7.1 L20以降

なし

1. Windows サーバOS (64-bit)上での動作

本商品は、以下のOSのWOW64(注)サブシステム上で、32ビットアプリケーションとして動作します。

- ・ Windows Server 2008(64-bit)
- ・ Windows Server 2008 R2(64-bit)
- ・ Windows Server 2012(64-bit)
- ・ Windows Server 2012 R2(64-bit)
- ・ Windows Server 2016(64-bit)
- ・ Windows Server 2019(64-bit)
- ・ Windows Server 2022(64-bit)

注：Windows 32-bit On Windows 64-bit

2. Windows デスクトップOS (64-bit)上での動作

本商品は、以下のOSのWOW64(注)サブシステム上で、32ビットアプリケーションとして動作します。

- ・ Windows 7(64-bit)
- ・ Windows 8(64-bit)
- ・ Windows 8.1(64-bit)
- ・ Windows 10(64-bit)

注：Windows 32-bit On Windows 64-bit

3. YPS仕様書の翻訳について

本商品の以下の機能を利用される場合、本商品のみではYPS仕様書の翻訳は行えません。このため、YPS/COBOL StdまたはYPS/COBOL Proを利用してください。

- ・ 試験コンパイル機能
- ・ オブジェクト管理機能
- ・ 保守支援機能

4. V2.1/V2.2 との互換性について

(1) YPS WorkBenchはWindows標準の操作性に基づいているため、YPS WorkBench for Windows V2.1およびYPS WorkBench for Windows V2.2(「旧仕様との互換」の操作モード)でサポートしていた以下の操作性は、サポートしていません。

- ・ 機能を選択してから開始位置・終了位置を指定

先に範囲を指定してから機能を選択する操作性に変更しました。

- ・ マウスの左クリックでポップアップメニュー(編集機能メニュー)を表示

マウスの右クリックでポップアップメニューを表示する操作性に変更しました。

(2) YPS WorkBench for Windows V2.2 の画面分割機能は、編集中のYPS仕様書に対してさらに参照モードで画面を開く方法でサポートしていましたが、編集中のYPS仕様書の画面を上下に分割する方法に変更しています。

5. V4.1/V5.0 との互換性について

V4.1/V5.0 との非互換はありません。

V4.1/V5.0 で作成した資産は、そのまま利用できます。

6. デサポート機能について

以下の機能については、連携製品のデサポートに伴い、V5.1L11より利用できなくなりました。

- ・ キャビネット連携

お客様向けURL

- FUJITSU Software (ソフトウェアの一覧表 (システム構成図) と各種対応状況)

価格/型名の一覧 (システム構成図) を提供しております。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/resources/condition/configuration/>

- FUJITSU Software (ライセンス)

「ライセンスについて、くわしく知る」の項で富士通製ミドルウェア製品のライセンスに関する解説、サポート期間などの情報を提供しております。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/information-download/>